



2022年11月11日

各位

会社名 株式会社イーディーピー
代表者名 代表取締役社長 藤森 直治
(コード番号：7794、東証グロース市場)
問い合わせ先 専務取締役 兼 総務部長 高岸 秀滋
(TEL 06-6170-3871)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は本日開催した取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、2022年8月12日に公表した2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）の通期業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2023年3月期通期業績予想の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	2,719	940	965	675	269.49
今回修正予想 (B)	3,098	1,365	1,428	997	398.07
増減額 (B-A)	379	425	462	322	
増減率	13.9%	45.2%	47.9%	47.7%	
(ご参考) 前期実績 2022年3月期	1,562	520	527	374	174.13

(注) 前回発表予想 (A) 及び今回修正予想 (B) の2023年3月期の1株当たり当期純利益 (予想) は、公募株式数 (360,000株) 及びオーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資分 (64,300株) を含めた期中平均株式数により算出しております。

2. 通期業績予想修正の理由

当社の主力商品であるLGD (Laboratory Grown Diamond:人工ダイヤモンド宝石の総称) 用種結晶については、LGD市場の拡大が続いていることから、LGD用種結晶の受注状況は堅調に推移しております。

LGD製造企業である当社ユーザーは、増産を進めており、このために種結晶の購入数量を引き上げる動きがあります。また、新規のLGD製造企業の誕生も、引き続き世界各地で見られます。当第2四半期累計期間の当社の生産能力では、これ等の要求に十分応えることが難しく、売上高は生産能力によって決まる状

況が継続しました。

そのため、種結晶の生産能力と供給量拡大のために、生産技術の改善と、成長装置の増設を並行して進めてまいりました。当第2四半期累計期間においても、2023年3月期第1四半期に引き続き、生産技術の改善が進行しましたので、その効果が発揮され、大幅に生産量が拡大いたしました。さらに、ユーザーからの種結晶サイズの大型化への要求に対し、当社がそれに応えるように大型品の生産比率を上げることも進めてまいりました。このような生産上の改善効果が表れるとともに、円安が進んだことで、当第2四半期累計期間の売上高は足許の計画を上回ることとなりました。また、製造原価や販売費及び一般管理費の増加を抑えることが出来たので、各段階利益も足許の計画を上回る事が出来ました。

当第2四半期累計期間において、新工場（島工場）の建設は順調に進み、計画通り2023年3月期第3四半期において全面的に稼働できる見込みとなっています。上述の生産効率の向上と種結晶サイズの大型化は、2023年3月期第3四半期以降も継続でき、LGD市場の拡大状況から受注の拡大が見込まれ、2022年8月12日に公表しました業績予想を上回る売上高、各段階利益を達成できる見込みとなりました。また、最近の為替動向に鑑み、円安状態が2023年3月期中は継続するとの見通しも考慮に入れ、上記の通り業績予想を上方修正いたしました。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上